

仙台白百合学園 学園報

Sendai
Shirayuri Gakuen
Campus Report

Vol.108

仙台市泉区紫山1-2-1
幼稚園: (022) 777-6777
小学校: (022) 777-3777
中学校: (022) 777-5777

令和5年
3月1日発行

<http://www.sendaishirayuri.net/>

愛を身に着けなさい。
愛は、すべてを完成させるきずなです。
(コロサイの信徒への手紙 3:14)



仙台白百合学園

表彰者一覧

令和三年度 大会・賞・受賞者	令和四年度 大会・賞・受賞者
第十六回全国高等学校囲碁選抜大会 女子個人選手権戦 優勝…高一 大沢 巴	令和四年度 大会・賞・受賞者 实用英語技能検定 準一級 合格…高一 齊藤 実優 高一 金子 瑠愛
第八十八回 榎杯争奪全国競技かるた大会 E級 優勝…高一 山田 麗	实用英語技能検定 合格 高一 勝矢 陽菜 高一 大塚 紗希 高一 小池 希葉 高一 青木 理紗子 高一 沼田 結衣
第四十六回 全国高等学校総合文化祭 小倉百人一首かるた部門 宮城県予選 予選フロッグ 第五位…高一 小形 愛美	宮城県高等学校体育連盟バドミントン専門部 功労賞…高一 大塚 紗希
第二回 YBCバレーコンクール東京コンクール シテ部門 第四位…高一 加藤 佑奈	第五回 全国競技かるた福島大会 D級 優勝…高一 山田 麗
第十五回 東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 宮城県選抜チーム 優勝…高一 小形 愛美	日本地球惑星科学連合2022年大会 パブリックセッション「高校生ポスター発表」 奨励賞…高一 庄司 亜胡
第四十二回 全国国際教育研究協議会高校生英語弁論大会宮城県代表選考会 奨励賞…高一 安原 雅羽	第四十六回 文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 A組 宮城県大会 段級位認定戦 第一位…高一 大沢 巴

第四十六回 文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 宮城県大会 女子団体戦 第一位…高一 大沢 巴 女子個人戦 第一位…高一 大沢 巴 第二位…高一 大沢 希	第六十九回 全国高校放送コンテスト宮城県大会 テレビドキュメント部門 優秀賞…高校 放送部 制作奨励 最優秀賞…高校 放送部 ラジオドキュメント部門 最優秀賞…高校 放送部 アナウンス部門 優良賞…高一 早坂 希乃香	第四十八回 全国高等学校総合文化祭東京大会 全国大会 小倉百人一首かるた部門 奨励賞…高一 小形 愛美 囲碁部門 団体 第八位…高一 大沢 希 個人 第四位…高一 大沢 巴	第十三回 全国和菓子甲子園 奨励賞 高一 加茂 伶奈 高二 庄司 彩花	日本英語検定協会主催 令和三年度 实用英語技能検定 奨励賞…高一 庄司 彩花	第七十五回 宮城県高等学校英語弁論大会 第一部 第一位…高一 ウィルン 永美	令和四年度 宮城県高等学校文化連盟 高文連文化連盟賞 高一 ウィルン 永美 高二 大沢 希 高二 大沢 巴 高二 小形 愛美 高二 道又 碧海
---	---	--	---	---	---	--

第一回 陽だまりアンサンブルコンクール 弦楽二重奏 最優秀賞…高一 渡邊 芽 高一 塩屋 あいみ	第五十七回 国際理解に関する弁論大会兼 二〇二三年度 第八十九回 国際理解・国際協力のための 高校生の主張コンクール宮城県予選 宮城県高等学校国際教育研究会長賞…高一 遠藤 美佑 公益財団法人 仙台観光国際協会賞…高一 千葉 容子	第十九回 宮城県高等学校文芸作品コンクール 俳句部門 優良賞…高一 加来 桃佳 奨励賞…高一 馬渡 弥々子 入選 高一 竹内 月音 高一 熊谷 優花 高一 小野寺 心和 高一 信夫 夏海	GTEC (Award of Accomplishment) 高一 ICコース 第二十三回 宮城県高等学校囲碁九路盤大会 第六位…高一 道又 碧海 第八位…高一 大沢 巴	第六十九回 宮城県高等学校英文コンクール B部門 第四位…高一 金子 瑠愛	第七十回 東北六県高等学校英語弁論大会 第三位…高一 ウィルン 永美	第七十一回 宮城県高等学校書道展覧会 第一部 漢字の書 金賞…高一 佐々木 実桜 高一 福田 萌華 高一 及川 愛心	第三十六回 東北地区高等学校囲碁選手権大会 優秀選手賞…高一 大沢 希	第三十九回 泉・黒川地区高等学校美術展 優秀賞 特別賞…高一 高橋 侑希 奨励賞…高一 栗山 ことき	特別国民体育大会 冬季大会スケート競技会 フリースタイル少年女子個人 第八位 エンカレッジコース フリースタイル少年女子団体 第二位 エンカレッジコース 高一 瀬川 穂乃 高一 瀬川 穂乃	第二十八回 東北高校放送コンテスト青森大会 アナウンス部門 奨励賞…高一 早坂 希乃香 優良賞…高一 横田 凧海 テレキャンベン部門 優良賞…高一 鈴木 美香
--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---

令和四年 アヴニール(未来)募金のご報告

下記の皆様におかれましては、仙台白百合学園に対し深いご理解のもと、ご寄付を賜りましたことに対して、深く感謝の意を表します。

ご協力頂いた皆様 ●浅野 辰之様 ●佐久間 博美様 ●三浦 貴子様 ●カトリックケベック外国宣教会 様	●松田 静香様 ●小野 翼様 ●工藤 陽子様 ●佐々木 利彦様 ●平井 孝浩様 ●千葉 俊輔様	●北林 謙一様 ●和田 英之様 ●磯田 修一様 ●浅利 圭哉様 ●佐藤 希美様	●佐藤 泰光様 ●牛澤 幸博様 ●菅井 元京様 ●城市 健様 ●高橋 文雄様	●藤島 雅広様 ●一般社団法人 スポーツプロジェクト東北様 ●一般社団法人 悠優会様 ●株式会社 ふれじーる様 (順不同)
--	--	---	--	---

※上記の皆様以外にも多くの方々からご寄付を賜りましたが、ご芳名の記載を希望されなかった方のお名前は掲載しておりません。

令和5年 アヴニール(未来)募金につきましては、後日HPや学園報等でお知らせ致しますので、皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

祝 卒業に寄せる言葉

卒業によせて

仙台白百合学園中学・高等学校

校長 藤田 正紀



ご卒業おめでとうございます。巣立の時を迎えた今、卒業生の皆さんはどんな気持ちを抱いているでしょうか。思い返せば、皆さんが入学した年は、新型コロナウイルスの突然の流行で長期間の臨時休校が続く、実質的な新学期が六月からという異例のスタートをした年でした。入学式は、ホールに集まって行うのではなく、教室で控えている新入生と先生方に対して、校内放送で話しかける形でした。感染症の詳細がよくわかっていなかった頃でしたから、皆さんの心には、きっと不安も大きかったことでしょう。しかし、新入生代表の二人の挨拶は、そんな不安を吹き飛ばすくらいに立派で前向きな内容だったことを今でも覚えています。

コロナ禍の真只中でこの三年間を過ごした皆さんには、予想外の苦労も数多くあったことでしょう。しかし、苦労した経験が多ければ多いほど、多くの

人から愛され、多くの人とのつながりを受けようになるはずですが、それは、人の心の痛みや敏感になり、人の心の痛みがわかるようになるからです。変化に備えて学び続けなければならぬ。これからの時代は、多様な価値観を有する人と交わり、共感し、対話を通じて物事を進めていく力がますます必要とされます。その基礎となる部分が、学校生活を通じて身につけているものと期待しています。

卒業後も是非祈る時間を大切にしてください。「祈る」ということは、一つのことに対して心を向けるということであり、心を向けることができる人は、心を合わせるができます。祈る習慣は、生涯を通じて皆さんの大きな支えになるはずですが、自信を持ってこれからの道を歩んでいくください。

また私は、仙台白百合学園高校の授業やボランティア活動を通して、これまで知らなかった世界のことを深く学び、教養を身に付けることができました。実際に様々な人と交流を深め、自分がこれから一人の人間として、社会や地球にどのように貢献できるかを考えました。

卒業を迎えて

卒業生の言葉

成長と感謝

高校三年生 安原 雅羽



中学三年生は九年間の義務教育の期間が終わります。親が子に教育を受けさせる義務が終わったことの意味を改めて考えてみてください。次の段階は、自分の責任で学んでいくのだという自覚が必要です。高校三年生は、成年年齢の引き下げにより、高校在学中に成人に達する初めての学年でした。それを見据えて、成人になるまでに、どんなことをどの程度成し遂げたいのか、普段から意識して生活してほしいと、呼びかけてきましたが、どうだったでしょうか。十八歳を機に普段の生活が変わったわけではないので、実感はないかも知れません。しかし、社会の様々な出来事が、決して自分と無関係ではないという認識を持つて視野を広げていくことは、今後大人としての皆さんに課される責任です。誰一人取り残されぬように、より幸せな社会を実現するために、できることを積み上げていきたいと思います。

新品の制服をドキドキしながら身に付けた入学式から、早三年が経ち、ついに卒業を迎えることになりました。長いようで短かったこの三年間は、とても中身が濃く充実していて、人間的に大きく成長できたと感じています。学園生活では、時に思うように行かず、落ち込むこともありましたが、

今、三年間を振り返り、自分がこのように成長できたのも、入学時から見守ってくださった先生方、この学校に入学させてくれた両親、そしてどんな時でも支えてくれた友人たちのおかげだと心から思います。私を支えてくれた人たちがいなければ、成長した今の私はいません。友達や、先生方、この学園と離れることを考えると寂しいですが、学園で学んだことは、私たち卒業生のそれぞれの道でずっと輝くと思えます。

今年卒業する皆さんの学生生活は、ずいぶんと窮屈なものだったに違いありません。小学校入学前には東日本大震災が、中学校卒業を前にして新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な制限が課せられてきました。諦めなければならなかったことも多かったと思います。何気ない当たり前の毎日を送ることの難しさを知っている貴方達です。白百合の凛とした立ち姿のように自分の能力を信じ、誇りを持って堂々と振舞って下さい。仙台白百合学園で宗教を学んだことで人に対する思いやりや優しさ、愛情や奉仕の心、学校行事を通して協調性やチームワーク、友達との堅い絆など得たものはたくさんあると思います。今後、進む道は違いますが、学校生活のことを心の糧とし目標に向かって新たな一歩を踏み出してください。そして人生の中で辛いことや厳しいこと、困難なことに直面した時には、是非この白百合の学びの舎を思い出し、荒波を乗り越えて欲しいと思います。新しい出会いを大切に、これから始まる生活が希望に満ちあふれたものになりますよう願っています。大丈夫、皆さんの愛をいただいているあなた達だから……

保護者から

愛のゆりかご

卒業生保護者 佐藤 弘子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。いよいよ旅立ちの時ですね。この豊かな自然に囲まれた広く綺麗な校舎で、各々の個性に引き合い、生徒ひとりひとりが主体的に行動する機会を作り、指導して下さった先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年卒業する皆さんの学生生活は、ずいぶんと窮屈なものだったに違いありません。小学校入学前には東日本大震災が、中学校卒業を前にして新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な制限が課せられてきました。諦めなければならなかったことも多かったと思います。何気ない当たり前の毎日を送ることの難しさを知っている貴方達です。白百合の凛とした立ち姿のように自分の能力を信じ、誇りを持って堂々と振舞って下さい。仙台白百合学園で宗教を学んだことで人に対する思いやりや優しさ、愛情や奉仕の心、学校行事を通して協調性やチームワーク、友達との堅い絆など得たものはたくさんあると思います。今後、進む道は違いますが、学校生活のことを心の糧とし目標に向かって新たな一歩を踏み出してください。そして人生の中で辛いことや厳しいこと、困難なことに直面した時には、是非この白百合の学びの舎を思い出し、荒波を乗り越えて欲しいと思います。新しい出会いを大切に、これから始まる生活が希望に満ちあふれたものになりますよう願っています。大丈夫、皆さんの愛をいただいているあなた達だから……

教職員から

高校三年学年主任 澤 猛史

卒業する皆さんへ。遂に卒業ですね。これから放課後の喧騒が聞こえてくるのかと思うと、肩の荷が下りたような、またとても寂しいような、何とも複雑な心境です。この三年間で本当になっていることがありました。皆さんにとっては、何が一番印象に残っているのでしょうか。

学年の印象を一言で表現すると、「明るい」「元気が良い」「喧し」「楽しかった言葉が思い浮かびます。元気が良すぎて周りに迷惑をかけ、注意されることもありましたね。また、生徒一人ひとりが、それぞれの世界で一生懸命頑張っていました。それは勉強だったり、部活動だったり、習い事だったり。苦しみながら勉強と課外活動の両立を目指して頑張る生徒も多く、放課後、教室や図書室に残って勉強する姿もちらほら見られました。

私たち教職員はこの三年間、コロナ禍においても皆さんが学校で最大限に成長できるように、様々なことに取り組んでまいりました。生徒に負けるものかと、己を奮い立たせることができた。だから皆さんには感謝があります。三年間、本当にありがとうございました。そして卒業おめでとうございます。心から、祝福を表します。

皆さんその明るさは、周りに元気を与える力があります。卒業した後も変わらず元気で、何事にも一生懸命な皆さんであり続けてください。皆さんの成長はまだまだこれからです。周りの人々と協力して、より高みを目指してください。あと、たまには学校に遊びに来てほしいな。ね。

定年を迎えて

中学・高等学校教諭

阿部 弘子



この学園で出合い、お付き合いいただいたすべての皆様に、心からの感謝を申し上げます。専任教諭としての三十数年の間には大きな出来事がいくつもありました。

まず、花京院校舎で迎えた百周年とその直後の紫山への校舎移転。百年過ぎた校舎の引越越えは、そうそう経験できるものではありません。新天地紫山での生活は季節の移ろいを感じる喜びも、夢の大きさに比例した苦しみもありました。例えば東日本大震災。三百名ほどいた帰宅困難生徒たちと椅子に座ったまま過ごした寒くて長い夜。家族と連絡が取れず不安に負けそうになりながら真っ暗な窓の外を眺めている生徒たち。そこには、愛と使命感に燃え、ご自分の家族を後回しにして寄り添い泊まり込んでいる先生方の姿もありました。忘れられない光景です。

そして終息のみえないパンデミック。目に見えないものと闘い続ける中で、一番の救いになっているのは、やはり校舎に響く生徒の皆さんの明るい声と屈託のない笑顔です。学園の一番の宝物です。混沌の時代ではありませんが、これからもその笑顔を見失わず、明るい未来に向かって真っすぐに歩んでいくってほしい。いつまでも応援しています!!



中学・高等学校教諭

柴田 瑞枝

小さい頃お正月の準備をしているときに、祖母が決まって「あと何年か」といつかいうことが出来るかな。とつぶやいていたように、私もこの数年、「あと何年か」といつかいうことが出来るかな。とつぶやいて教室から見える景色をいつか、行事や授業を通して見えてきました。教員になったばかりの頃、小さな黒板を買い、一人何役にもなって授業のリハーサル

中学・高等学校教諭

阿部 眞貴



昭和五十七年より勤務し四十二年。思い起こすとどの思い出も私を成長させてくれるものでした。特にエンカレッジコース開設当初から事務を担当するようになり、その方にとって大切な事は何だろうと考えるようになりました。保護者の方とも話す機会が多くなり、信者になりたいという生徒のお世話をしたり、ボランティアの引率に行ったりとその関わりを通して、共に寄り添うことの大切さを改めて知りました。

この学園が百年以上かけて伝え続けてきた「キリストの愛」「愛」とは学び、体感するものだと思います。「愛」を実感する時は人によって違いますが、愛の体験がなければ伝えることは出来ません。この学園で学んだ白百合の「愛」は伝え続けられていくものだと思います。これまで支えてくださった皆様に深く感謝申し上げます。

活躍する先輩からのメッセージ

2007年度 卒業(高校60回生)

ウォルト・ディズニー・イマジニアリング株式会社
Bilingual Secretary 沢田 奈菜



小学校から十二年間白百合で過ごした日々は、私の人生の大きな礎となりました。高校ではEコースの二期生となり、毎日のように行う英語のエッセイやプレゼンテーション、グループディスカッションに挑戦し、今振り返っても感心するほど真剣に取り組んでいました。一年間のオーストラリアへの留学は私の人生に大きな影響を与え、その後の人格形成の基盤ともなりました。大学卒業後は留学での経験を活かし、日本航空のグランドスタッ

フとして成田空港を出発する多くのお客様のお手伝いをさせていただきました。その後は高校時代から夢見てきたフロリダにあるウォルト・ディズニー・ワールドのキャストとなり、世界中から訪れるゲストに幸せを届けられたことは人生の誇りです。現在はウォルト・ディズニー・カンパニーの子会社にてバイリンガル秘書として勤務し、東京ディズニーシーの新エリアオープンに向けて奮闘しております。

小学生の時、教頭先生から「白百合生としての自覚と誇りを持ちなさい」と言われたことを卒業してから何度か思い出すことがありました。幼かった当時こそ分かりませんでしたが、大人になった今とても身に沁みて実感しております。卒業してから白百合出身であることを人に話すと、「白百合」という名前が多くの人々に知られていることに改めて襟を正し、これからもその名に恥じぬよう自覚と誇りを持って振る舞うよう努めてまいります。

年長児に
インタビュー



- Q1 お手伝い大好き!
- Q2 お気に入りの絵本



幼稚園

① せんせいの おてっ
だいや、ちいさい
おともだちのおせ
わ。
② うちゅうのこまを
かんでまわす。
(かみ あゆこ)

① コップやおさらを
あらうおてっだ
い。
② 3びきのこねこの
えほん。
(おばら やちる)

① おさらをあらうこ
と。
② ももたろうのえほ
ん。
(おかもと みつは)



がんばった
なわとび
たいがい!

① やさいをきるこ
と。
② やさいのほん。
(ケルシーエ あかり)

① せんたくもののと
りだしと、くつな
らべ。
② ねずみとねこのパ
ンやさんのほん。
(かくた まさと)

① はこに、おさかな
ならべるこ
と。
② ぐるんぱのようち
えんのほん。
(あべ こうみ)



いっぱい
すべろうね!

① せんたくものをた
たむこ
と。
② ディズニーのえほ
ん。
(たてだ ゆめ)

① テーブルにおさら
やおはしをならべ
るこ
と。
② すみっこぐらしの
ほん。
(しろとり さほ)

① おふろのおそう
じ。
② さかなのくらしの
ずかん。
(まこう せんじ)



きれいな
音だね!

① おこめをとぐこ
と。
② としでんせつのは
ん。
(つちや あきゆき)

① おせんたくをたた
むこ
と。
② ぶつづつのずかん。
(たかやま えま)

① おさらあらいとせ
んたくものをせん
たくにいれるこ
と。
② ケーキのえほん
(たかはし かこ)

① おさらあらい。
② おかしのほん。
(こがね さや)

① いもうとのおせわ
をすること。
② こぐまちゃんおや
すみのえほん。
(わたなべ りお)

① ふとんをたたむお
てっだい。
② ムシのずかん。
(ふるやま そうし)

① おふろのおそう
じ。タオルをたた
むこ。テーブル
をふくこ
と。
② ロケットやうちゅ
うのことをずかん
でよむこ
と。
(ひらい くみ)



うまくひけるように
がんばるよ!

① おさらをあらうこ
と。
② たべものやさんの
しりとりほん。
(ひの なつめ)

① みそしるづくり。
② ふうせんやうさい
きょうおおずかん
と、モンスタース
いきようだいが
ん。
(なかい しゅんた)



本をよむの
だいすきだよ

令和5年度2歳児クラスについて

幼稚園では「ひとりでできた!」という自信が湧いてくる教材や、好奇心をくすぐる活動を準備しています。子ども達には様々な経験を通してワクワク感をいっぱい味わってほしいと願っています。そのために、新しい試みとしまして、2歳の子ども達にできるだけ幼稚園で過ごす時間を増やしたいと考え4月からリニューアルします。



月、火、水、木、金曜日の平日
登園 10:00 お帰り 12:00
こちらは毎日の通園でも曜日を選択することもできます。基本的には保護者の付き添いはいりません。お友だちと一緒に活動し、集団生活に慣れていけるよう対応します。
お問い合わせ、お申込みは、随時メールまたはお電話で承っております。
✉ kinder-info@sendaishirayuri.net
☎ 022-777-6777



おしごと紹介



感覚教具の中で、聴覚のプログラムの中の「雑音筒」は、小さい子ども達が大好きなおしごとです。
木製の二個の箱は、赤と青に分けられています。その中にそれぞれ六本ずつの円筒が入っています。円筒の中には、小石、砂、穀物、コメ、糠などが入っていて、これを手で持つて振ると、段階的に強弱の音が出るようになっていきます。この二セットは、対になるようにできているので、強い音と弱い音をよく聞いて同じ強さの音を探します。
最初は、違いのはっきりした二対から始めて、徐々に本数を増やしていきます。僅かな違いの物は、よく耳を澄まして注意を払わなければ大人
この音は
さっきと
おなじかな?

でも間違えてしまっても大丈夫です。
「これかな? やっぱりこ
つちかな?」何回も振って
同じペアを探し出すのがと
ても楽しそです。
感覚器官を使って、自分を
取り巻く環境の中の様々な
音をよく認識し、集中して聞
き分けられるように、子ども
達の感性を豊かに培ってい
きます。



小学校

Elementary School

校長先生より

小学校校長 早坂 博之

もうすぐ春です。どの子どもも一ツ進級あるいは卒業し、新しいステージで学ぶことになりま。子どもたちも次のステージを強く意識し、期待に胸を膨らませていることでしょう。もしかしたら不安を感じている子どももいるかもしれませんが、でも、立ち止まることはできません。ですから、覚悟を決めて自分を信じ、これまで学んできたこと頑張ってきたことを自信に変えて、強く大きな一歩を踏み出せるよう励ましてあげたいと思います。

進級や卒業は人生の節目です。人は節目があることで、自分の成長を強く感じることが出来ます。一年の区切りを節目とし、そこに向けて目標を立てたりこれまでを振り返って反省したりします。それはそれで大事なことです。が、本当は日々の何気ない生活こそが成長に繋がっているに違いないのです。大人も含め、多くの人はそんな毎日を意識しないまま生活してしまっています。それがすぐく勿体無いように思

います。ぜひ、この節目に毎日の生活を見直してみたいかがでしょうか。一日一日を大事に過ごすことが、確かな成長を約束し一年後の目標に繋がる方法だと思っております。

そこで、毎日の生活の中で見直すこと良いと思うことが三つあります。一つ目は、食事です。食事は成長期の体を作り、毎日の活力を生み出し、心の安定に欠かせません。どれも密接に関係していますが、注目して欲しいのは心の安定です。学びに向かう我慢強さや人間関係を良好に保つために特に朝食・昼食は大切です。

おなかですくば落ち着かなくなり、コミュニケーションが難しくなってしまうのは、大人より子どもたちのほうが顕著に現れます。学びを効率よく吸収するためにも、人間関係を良好に保つためにも食事を疎かにしてはいけません。二つ目は、睡眠です。睡眠もまた体を作り、活力を生み出し、心の安定に欠かせません。そして、これらに加え、睡眠は記憶の定着に欠かすことのできない条件であることが分かってきています。ハー

バード大学の研究で記憶には六時間以上の睡眠が必要だという研究結果が報告されています。私たちは寝ている間に記憶を整理し定着させるのです。ですから、試験勉強のために睡眠時間を削って勉強したりするのは効率が悪く、その場しのぎで一年後に繋がることではないのです。日々、七時間ほどの睡眠は心がけていきたいものです。

併せて、食事と同じように心の安定に大きく関わるのと言いつてもありません。三つ目はお祈りです。小学校では朝礼お昼・帰りの会にお祈りを行います。お祈りは一日の節目と言つてもいいでしょう。ほんの短い時間で、自分の行いやこれから行うことを神様に問う時間です。そんな静かな内省のひとときを大切にしたいものです。お祈りをするので、自信をもって確かな道を歩めるのではないのでしょうか。

さあ、新しいステージに向けて大きな一歩を踏み出しましょう。丁寧な毎日積み重ね、次なる節目で良い日々を過ごしたと振り返れるように。自信のもてる成長を手に行けるように。

卒業の一句

六年桜組

満開の 桜と笑顔 またいつか 石橋 咲花
いつまでも みんなのことを 忘れない 石山 陽菜
大空に 飛び立つ心 春ツバメ 一條 みのり
走り出せ 自分自身を 変えていけ 伊藤 想乃
花吹雪 記憶と共に 舞つてゆく 井上 結愛
あと少し はばたく未来 見えてくる ウィルソン 愛麗澄
あたらしい 波が今から 押しよせる 尾上 優愛麗
たくさんの 思い出残す 学校に 柏木 薫
友に告げ 涙を抑え あゆんでく 角屋 紀衛
支え合い 進んだ日々は 忘れない 木村 理子
春が来る 名残おしいが 別れかな 今野 ひなた
羽ばたいて 夢につながる 中学へ 後藤 真梨子
卒業へ 増える寂しさ 減る時間 佐藤 真央

六年菊組

別れの日 あふれる涙 輝いた 千葉 かのん
ゼラニウム クラスの友への メッセージ 西坂 結莉奈
たくさんの 思い出詰まる 未来へと 松浦 千郷
教室で えがいた未来 羽となる 宮本 桜空
つらいこと 保健室行き ぬぐい去る モス 紗々
水色の 丈が短く 黒覗く 山形 まい
放課後に 急いで帰る 教室へ 相澤 志織
修学旅行 友と一緒に 空を飛ば 阿部 結愛
こころ跳ね 鍵盤叩く 教室の 市川 みすず
最後の日 球と想いを 狙い撃ち 今津 愛菜
桜散る 過ごした日々を 追憶し 岡 朱莉
お腹空き 耳をすませば かねの音 加来 亜笑
桜咲き 新たな場所で 学び合おう 金森 みなみ
鐘が鳴り クラス飛び出し ベンチ行く 佐藤 朱織

筆入れの

白百合マーク ビンヘゆく 佐藤 美宙
窓の奥 気づけば外は 桜色 鈴木 友希乃
友達と 歩いて向かう 校舎道 須藤 優莉
辛くても 必死に走れば 花は咲く 高橋 花百
花が咲き 次の階段 上りたす 高橋 すみれ
新時代 扉を開ける 友たちと 日比野 可於
桜舞う 別れの涙 頬つたう 堀江 芽衣
暖かい みんなの絆 いつまでも 前田 紗空
自分には 新たな進歩 待っている 松浦 千鶴
未来への 新しい道 切り開く 宮崎 真子
屋根の下 一つの知識が 花開く 日時 有希羅



6年間の思い出



1年 ハロウィンパーティー



2年 昔遊びの会



3年 盲導犬募金



4年 プログラミング



5年 松島オルレ



6年 修学旅行

ソフトテニスクラブ

ソフトテニスクラブは、昨年度よりスタートした新しいクラブ活動です。顧問の先生は、体育科の吉田美穂先生。先生は、高校生の時には国体にも出たのだそうです。部員は現在、四年生十五名、五年生九名、六年生五名の合計二十九名で活動しています。このうち、ソフトテニスの経験者はいませんが、硬式テニスの経験者が五年生に一人います。活動場所は中高のテニスコート(オムニコート)砂入り人工芝コート)を使用しています。始めた当初は、触ったことのないボールやラケット、初めて見るコートにも興奮している様子が見られました。なかなかボールが当たらず楽しさを感じることができない部員も見られましたが、数週間が経つとラケットにボールが当たりだし、良い打球音も聞こえてくるようになりました。それに合わせ、楽しさを感じることができるようになってきました。部員に感想を聞くと、「ストロークとサーブが上手にでき





そんなコルベ神父の死に際、世界中の人の為に、命を捧げたイエスの情景と重なり合う。人の為に行動できる、という事こそが、自ずと平和に繋がっていくのではないか。「平和」「心から望んでいるか。苦しみを理解しているか。私は笑顔の優さを、身に染みて感じた。心から笑い合えた時の温かさ。本当にかけがえないもの。幸せの時間を共にしている友達、家族に「ありがとう。」の一言を送りたい。大切にしたい人に贈るこの一言が、平和への第一歩ではないか。

高校2年
長崎研修旅行
十二月六日〜九日

高校2年 高田橋 来美

この四日間の研修旅行は、多くの心の変化を感じる貴重な時間となった。多分、それは、多くの事を見て、感じ、学んだからこそ、感じられたものだと思う。そして、私はその感情を忘れることのないよう、大切に続けたい。私にとって、特に心に刺さったコルベ神父の生き方。名前も知らない人の為に、自分の命を犠牲にした。誰もが出来る事では決してない。私が代わりには...

ポーランド・フレンドシップ 開催

10/29・11/26・12/3・1/21 オンライン交流会



2013年から実施しているポーランド友好訪問は今年もコロナ禍の影響を受け、オンラインでの開催となりました。以前、ポーランドへクリスマスカードを送った経験があり、オンラインではあったもののポーランドの方々とお話できたことに感謝しています。

「絆」と「平和」をテーマにしているこの研修では、たとえ遠く離れていても、第一言語が異なっても、共に楽しい時間を共有する

とができるのだと強く感じました。特に英語、日本語、そしてポーランド語でクリスマスソングを共に歌った時、現在世界では違いによる差別や争いが存在し続けていますが、言語や文化が違うからこそ生まれる楽しさもあるのだなと感じました。また、一つの企画として、学園内をポーランドの方々へ英語で案内しました。コロナが終息し、またお互いの国を訪問し合えるようになった時、行ってみたいと思っていただけきっけになっていたら嬉しいです。



共に準備を進めてくださる周りの方々へ感謝しながら次回のオンライン交流会も楽しみたいと思います。 高校3年 金子 瑠愛

カナダ1年間留学報告



カナダでの1年を通して

私はカナダのラングレーに1年間留学をしました。ラングレーはバンクーバーから車で約45分程の場所にある自然豊かな小さな町です。慣れ親しんだ日本から離れ海外で生活することは困難に立ち向かうことも沢山ありましたが充実した1年になりました。高校生活では日本とは違って好きな物だけを好きなように学ぶスタイルがとても魅力的でした。最初の方は自分の拙い英語に絶望で授業や友達作り所ではありませんでした。そのままではダメだとやれることを精一杯頑張りました。また、私のホストファミリーはとても親切で思いやりがあり、私のことを本当の娘のようにまた姉のように愛情を注いでくれる家族でした。毎日4人の子供たちと遊ぶうちに語彙力が増え、スラングを沢山学ぶことができました。それだけではなく今までわがままに育てられてきた私にとって自立して大人になるという大きな成長を遂げることもできました。私はこの1年を通して英語力だけでなく精神面や自立という面で沢山の成長しました。この1年間私を支えてくれた全ての人々に感謝をして、これからも精進していきたいと思っています。 高校2年 李 安陽



「赤毛のアン」発祥の地にて

私はカナダにあるプリンスエドワード島という島で1年間の留学をしてきました。「赤毛のアン」発祥の地としてよく知られ、私もアンの世界観に憧れプリンスエドワード島に行くことを決めました。しかしそれは思っていた以上に波乱の毎日、当初英語力が全く無かった私は言語の壁に直面し苦しい日々が続きました。コミュニケーションが取れずため息をつかれることもしばしばです。しかしそれでも私は諦めず、勇気を持って人と接しました。するとカナディアンとの友達も次第に増え、それだけでなく他の国の留学生の友達もでき、最終的には本当に沢山の友達に恵まれ当初の英語力が嘘のように身に定着していることを実感することができるようになりました。最初はどんなに辛くても、諦めず強い心を持って必ず霧は晴れることを学びました。大好きなカナダで出会った人々との思い出は宝物です。ここを新たなスタートとしてまた人生を飛躍していきたいです。 高校2年 本江 乃彩

保護者代表の方よりメッセージ

留学して1ヵ月、娘から送られてきたLINEは日本語で書かれた文章に所々英単語が混在し、焦る気持ちが綴られていました。その後、英文へと変わり、留学してよかったと言う喜びに満ち溢れていました。留学を通して沢山の皆様にお世話になりました。沢山の素敵な出会いと、日本で娘を支えてくださった先生方、お友達に感謝の気持ちでいっぱいです。

中学・高等学校

Junior & Senior High School

仙台市中学校生徒会 合同会議に参加して

中学校生徒会長 伊藤 柘乃
中学1年



十二月七日、仙台市中学校生徒会合同会議に参加しました。合同会議は、小グループでの話し合いから全体への情報共有という構成でした。小グループでの話し合いでは、お互いの学校行事や生徒会の取り組みについて知ることが出来ました。新しく取り入れてみたいことや興味深い取り組みが沢山ありました。全体の情報共有では白百合学園の活動を紹介していただきました。私なりに頑張って説明したので嬉しかったです。他校を知ることが、この仙台白百合学園での奉仕の精神や独自の行事、国際的な活動などの魅力にも気がつくことが出来ました。合同会議で学んだことをこれから生徒会活動に生かしていきたいです。

十二月七日、仙台市中学校生徒会合同会議に参加しました。合同会議は、小グループでの話し合いから全体への情報共有という構成でした。小グループでの話し合いでは、お互いの学校行事や生徒会の取り組みについて知ることが出来ました。新しく取り入れてみたいことや興味深い取り組みが沢山ありました。全体の情報共有では白百合学園の活動を紹介していただきました。私なりに頑張って説明したので嬉しかったです。他校を知ることが、この仙台白百合学園での奉仕の精神や独自の行事、国際的な活動などの魅力にも気がつくことが出来ました。合同会議で学んだことをこれから生徒会活動に生かしていきたいです。



▲オンラインでの情報共有

中学1年

聖劇を終えて

中学1年 門馬 那奈



私達中学校一年生は、SPタイムの時間を活用して、クリスマスを迎えるための聖劇を行いました。今回の聖劇で、二組は「靴屋のマルチン」、三組は「もっ二人の博士」という演目を担当しました。各クラスとも、生徒みんなが工夫をし、良い所を伸ばしていく中で、神様からの大切なメッセージを受け止めることができましたように思います。私は、「もっ二人の博士」の主人公アルタバンを演じました。役を演じる中で、私が自分なりに受け止めたメッセージは、「神様にしたことがすべてではない。人にしたことでも神様にしたことと同じだ。」ということでした。誰かのために親切にすると、神様がその行いを見てくださっているのかなと思いました。

私は今回の聖劇で、主人公を演じるという貴重な経験をすることができました。今回学んだことを忘れずに、日々、神様からのメッセージを受け止めながら過ごしていきたいです。

2022 12/12 (月) 中学2年 SPファイナンスパーク

「収入と支出のバランス」や「家庭におけるお金の使いみち」「賢い生活費の立て方」などを学習しました。



大人の私はこう考える... 未来のライフスタイルを考えたみましょう!

今回、私は2歳の双子を持つ34歳の母親としてライフスタイルや家計を考えました。家を借りたり、生活用品を買ったり、保険に入るなどスムーズに進めるうちに、買い物をするにも子供を最優先に考えている自分に少し驚きました。将来どのような職業に就き、どのような生活をするのかわかりませんが、その時に自分に必要なもの、家族に必要なものをきちんと選べる大人になりたいです。今回体験した生活の悩みを毎日のようにしている親に改めて感謝したいです。 中学2年 乙戸 若菜

ファイナンスパークでは、株式やオポチュニティー・コストなど今まで触れたこともなかった用語を詳しく学ぶことができました。自分自身の設定だから簡単だと思いましたが、手取り月収が少ないために生活費の配分などを想像しながら考えるのが大変でした。やり繰りできるか不安がありましたが、ボランティアの方にお手伝いいただいたので目的意識をもちながら進めることができました。今回体験した年代や月収額は、大学を卒業して数年後にやってくると思うので良い経験になりました。これからも自分で考える事を大切にしながら頑張っていきたいです。 中学2年 八木 千佳

2022 12/9 (金) 中学3年 SPキャップハンディー体験

下肢障害の早坂さん、視覚障害の阿部さんを講師に招いてキャップハンディーを学びました。



仙台市の障害を持つ方の人数は小学生と同じくらい、と初めて知りました。車いすの方を手助けするときは、「何か助けることはありますか?」ではなく「何か手伝うことはありますか?」と最初に挨拶をすることが大切だと学びました。視覚障害の方は、目が見えなくなってから感謝を伝えることの大切さや見えないうちからチャレンジして達成感を味わえることに気付くことができたと言われました。1L牛乳パックやハガキにくぼみがあったり、街の段差を減らしたり、暮らしやすいように工夫があることを知り、自分のできる事、力になれることが出来たらいいなと思いました。 中学3年 後藤 梓乃

私はこれまで心のどこかで障害者は可哀そうだと決めつけていた気持ちもあったと思います。しかし、今回の講話で自分の考えの間違いに気がつくことが出来ました。「わたしたちは特別なのではない。なぜなら障害者になる前に出来ていたことが今もできるから」「思いやりの心を持って応援してください」という言葉が印象に残りました。私は、思いやりの心を持つということは、障害のある方が自分たちの住む町に大勢いることを視野に入れて、地域の話合いに積極的に参加し、よりよい町を作りたいという意思を持つことだと考えました。「みんながってみんないい」この言葉を心にとめて障害者と共に生きる世界とはどのような世界かを考え続けていこうと思います。 中学3年 山田 奈央

表彰者一覧

半紙の部 第十五回 河北小中学生書道展	銀賞 四年 藤田 有響 五年 五十嵐 胡桃 六年 八重樫 羽美
条幅の部 JA共済宮城県小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール	奨励作品 五年 五十嵐 胡桃 六年 石橋 咲花
半紙の部 MOA美術館仙台児童作品展	奨励作品 四年 篠田 有響 五年 綾瀬 莉瑠愛 六年 柏葉 水玲
条幅の部 MOA美術館奨励賞 河北新報社賞	銅賞 五年 綾瀬 莉瑠愛 六年 柏葉 水玲
絵画の部 元気をこめて賞	一年 一條ひかり
河北新報社新聞記事コンクール	優秀賞 六年 日比野 可於
MOA美術館仙台児童作品展	優秀賞 四年 篠田 有響 五年 綾瀬 莉瑠愛 六年 柏葉 水玲
書道の部 MOA美術館奨励賞 河北新報社賞	銅賞 五年 綾瀬 莉瑠愛 六年 柏葉 水玲
条幅の部 JA共済宮城県小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール	奨励作品 五年 五十嵐 胡桃 六年 石橋 咲花
半紙の部 第十五回 河北小中学生書道展	銀賞 四年 藤田 有響 五年 五十嵐 胡桃 六年 八重樫 羽美

八木山動物園写真生大会	仙台市教育長賞 住 作 佳 作 一年 中川 凛 二年 田代 七浩 三年 盛 結美 四年 盛 結美 五年 中川 凛
全国選抜小学生プログラミング大会	みんなの未来賞 三年 中村 美音
第三十八回 宮城県小学生陸上競技交流大会	女子コンバインドA 第一位 高橋 花白 第二位 石橋 咲花 第三位 根子 麻枝子 第四位 二ノ宮 華露 第五位 高橋 花白 第六位 高橋 花白
第三十八回 宮城県小学生陸上競技交流大会	女子コンバインドA 第一位 高橋 花白 第二位 石橋 咲花 第三位 根子 麻枝子 第四位 二ノ宮 華露 第五位 高橋 花白 第六位 高橋 花白
第三十八回 宮城県小学生陸上競技交流大会	女子コンバインドA 第一位 高橋 花白 第二位 石橋 咲花 第三位 根子 麻枝子 第四位 二ノ宮 華露 第五位 高橋 花白 第六位 高橋 花白
第三十八回 宮城県小学生陸上競技交流大会	女子コンバインドA 第一位 高橋 花白 第二位 石橋 咲花 第三位 根子 麻枝子 第四位 二ノ宮 華露 第五位 高橋 花白 第六位 高橋 花白
第五十回 仙台市陸上競技選手権大会	小学四年女子100m 第一位 工藤 陽菜 第二位 二ノ宮 華露 小学五年女子100m 第一位 高橋 花白 第二位 高橋 花白 小学六年女子100m 第一位 高橋 花白 第二位 高橋 花白 小学四年女子1500m 第一位 工藤 陽菜 第二位 二ノ宮 華露 小学五年女子1500m 第一位 高橋 花白 第二位 高橋 花白 小学六年女子1500m 第一位 高橋 花白 第二位 高橋 花白 小学五年女子走り幅跳び 第一位 野津田 百香 第二位 二階堂 愛理 小学六年女子走り幅跳び 第一位 高橋 花白 第二位 高橋 花白 小学六年女子走り幅跳び 第一位 高橋 花白 第二位 高橋 花白
第四十回 宮城県陸上競技児童オリンピック大会	走り高跳び 第一位 高橋 花白 第二位 高橋 花白

第七十一回 仙台市中学校総合体育大会	泉区ソフトテニス競技大会 第一位 高橋 凛校 区ソフトテニス競技大会 第一位 高橋 凛校 区ソフトテニス競技大会 第一位 高橋 凛校 区ソフトテニス競技大会 第一位 高橋 凛校 区ソフトテニス競技大会 第一位 高橋 凛校 区ソフトテニス競技大会 第一位 高橋 凛校 区ソフトテニス競技大会 第一位 高橋 凛校 区ソフトテニス競技大会 第一位 高橋 凛校 区ソフトテニス競技大会 第一位 高橋 凛校 区ソフトテニス競技大会 第一位 高橋 凛校
第七十回 宮城県小・中・高等学校児童・生徒書きぞめ展	硬筆の部 特選賞 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月
第七十回 宮城県小・中・高等学校児童・生徒書きぞめ展	毛筆の部 特選賞 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月
第七十回 宮城県小・中・高等学校児童・生徒書きぞめ展	硬筆の部 特選賞 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月
第七十回 宮城県小・中・高等学校児童・生徒書きぞめ展	毛筆の部 特選賞 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月

第四十回 仙台市泉区中学校ソフトテニス夏季大会	優勝 中一 齋藤 ひまり 中二 齋藤 ひまり
第三十八回 少年の主張 泉区大会	優良賞 中一 島貫 希里恵 中二 古川 亜見
令和四年度 第七十二回 仙台市中学校英語暗唱大会兼高宮杯第七十四回 全日本中学校英語暗唱大会仙台市予選大会	優秀賞 中二 古川 亜見 中三 大中 ひかり 中一 古川 亜見
令和四年度 第七十二回 仙台市中学校英語暗唱大会兼高宮杯第七十四回 全日本中学校英語暗唱大会仙台市予選大会	優秀賞 中二 古川 亜見 中三 大中 ひかり 中一 古川 亜見
令和四年度 愛鳥週間ポスター原画コンクール	優良賞 中三 佐々木 風揮 中二 佐々木 風揮
仙台市中学校併論大会	優良賞 中二 佐藤 ちひろ
令和四年度 仙台市中学校新人大会	卓球 泉区女子団体 第三位 中学校 卓球部 ソフトテニス 泉区大会 第二位 高橋 凛校 ソフトテニス 競技区大会 第二位 高橋 凛校 ソフトテニス 競技区大会 第二位 高橋 凛校
仙台市中学校読書感想文コンクール	課題図書部門 自由図書部門 奨励賞 中二 八木 千佳 中一 佐藤 花 中二 大場 瑞記 中一 大場 瑞記
令和四年度 緑と花いっぱい絵画コンクール	UR 東日本東北本部賞 中一 諸橋 凛
仙台市中学校教育研究会全国語部会編文集「こだま」六十七号	生活文(三年) 創作 中二 寺島 咲音 中一 寺島 咲音 中二 寺島 咲音 中一 寺島 咲音 中二 寺島 咲音 中一 寺島 咲音
第七十四回 宮城県小・中・高等学校児童・生徒作詞・作曲コンクール	作曲の部 特選賞 中二 八木 千佳 中一 八木 千佳 中二 八木 千佳 中一 八木 千佳 中二 八木 千佳 中一 八木 千佳
第七十六回 宮城県小・中・高等学校児童・生徒書きぞめ展	硬筆の部 特選賞 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月
第七十六回 宮城県小・中・高等学校児童・生徒書きぞめ展	毛筆の部 特選賞 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月 中二 千葉 結月 中三 千葉 結月 中一 千葉 結月

おめでとう

表彰者一覧

掲載の表彰者は一月末日現在のものです。

～ 総合的な探究の時間 ～

高校1年生 「リアル」な社会とつながる(グループ探究)

高校1年生の「総合的な探究の時間(SPタイム)」は、今年度より新プログラムで実施をしています。後期は「リアルな社会とつながる」をテーマに、以下の5企業からのミッションを受け、グループ探究を行っています。各企業の担当の方とは定期的に報告・アドバイスをいただく機会を設定し、より社会に広く目を向けた探究を目指しています。



企業	ミッション/これまでの主な活動
(株)パイロット コーポレーション	グローバルシズンの自覚・情報化社会・SDGs・ベン回収リサイクルプログラムに取り組もう グローバルシズン・情報化社会・プラスチック問題に関する調査、プレインストーミング、ティベートと報告
(株)泉パークタウン サービス	地域コミュニティの課題とその解決策～学校(生徒)がどのように関われるか～ 地域コミュニティの課題を挙げ、調査、実践に向けた準備
(株)日本旅行東北	新しい旅行の在り方とは?～宮城の魅力を残さず伝えよう～ ファミリー、シニア、女子学生、外国人旅行者のそれぞれを対象とした旅行プランの計画
(株)東北 バイオフード リサイクル	食品ロスと食品リサイクルのベストミックスを考えよう 食品ロス・食品リサイクルに関する情報収集と考察、仙台駅ゴミ集積場見学
(株)東日本放送	地域の魅力を発信する動画を作成しよう 宮城県内や仙台市内、学園の魅力を調査し、動画の作成と改善

2023/1/28(土) 中間発表会開催



1月28日(土)には学年中間発表会を行い、各企業からのミッションにどのように取り組んでいるのか、どのようなことを考えたのかなどを発表、お互いに共有する時間を持しました。なお、このグループ探究は高校2年生でも継続して行います。

高校2年生 LSコース GSL(グローバル・サーバント・リーダー)プログラム

探究活動2年目に入り、より具体的な活動を展開しています。



03LS01班
1年次は、調べ学習から始まり、貧困の連鎖を断ち切るためには子どもへの支援を充実する必要があることを学んだことから、子ども支援の一部である子ども食堂と学習支援について、大学教授にお話を伺いました。また、学年で行われた報告会で日本の貧困の現状を発表させていただきました。2年次には、実際に宮城県内で子ども食堂や学習支援を行っている団体に取材を行い、頂いたアドバイスをもちに貧困の連鎖を断ち切るためのアイデアを考え、広める活動の一環として、みらい甲子園2023に参加、そして学年の最終報告会でも発表させていただきました。

03LS02班
私たち03LS02班は「全世代への性的マイノリティの周知と理解のために」というテーマの下、探究活動を進めてきました。調べ学習を行い、性的マイノリティの方々に対する差別や偏見を無くすためには、その周知と理解が必要であると結論づけました。また東日本大震災時、当事者の方がその認知度の低さから、避難できずに孤立してしまったという事例を知り、今後災害が起こったとき誰一人取り残されないよう、性的マイノリティの受け入れを示す「オールジェンダービクトグラム」の制作を行いました。今後はこのビクトグラムの普及を積極的に行っていきます。

03LS03班
私たちの班は、高齢者と外国人労働者の地域での孤立に目を向けて活動してきました。沢山の方にインタビューなどを通してご協力いただき、孤立を解消する方法として防災パンフレットを作成しました。このパンフレットは防災と孤立解消を結びつけた考えに基づいて作成したもので、災害が多い日本で防災活動を地域で活発に行えるような環境づくりをかなえ、孤立した方々の社会参加が可能です。この環境を維持していくことが持続可能な孤立解消への第一歩となると思います。